



第40号

編集・発行
富士見市日中友好協会
富士見市鶴瀬西

2-17-10

(049)254-5762

<http://www.jc-sf.com/>

第6回チャイナサロンを3年ぶりに開催

＝ 2022年9月25日(日) 鶴瀬西交流センター集会室 ＝

新型コロナの影響で暫く開催を見合わせていましたが、9月25日(日)に埼玉県日中友好協会橋本清一理事長を話者にお招きしました。

橋本理事長は、「1972年の国交正常化以来50年の歴史の中にはよい時代もあった。1949年ころからの『民を以て官を促す』民間外交の時代を継続しつつ両国が共にウィン・ウィンの関係を築けるよう努力していこう。」と訴えました。

(以下、2面に続く)



新年のごあいさつ

富士見市日中友好協会

会長 岩本 喜直

二〇二二年は大変な年でした。コロナウイルス感染症が山また山と繰り返され日常生活を脅かされました。二月にはロシアのウクライナ侵攻が勃発し、生活インフラや橋などの公共施設、いくつかの病院などを破壊し、原子力発電所にも妨害を与え、正常な国、正常な人間のやることかと惨憺たる思いにさせられました。死亡者も膨大な数に上り、怪我をした人は生涯その不自由さに堪えなければならぬのではないかと思うと穏やかな気持ちではいられません。一刻も早く平穏な世界に戻ってもらいたいと痛感します。安倍元首相の襲撃事件も起きました。何が起きるか予測できない、震撼とさせられた事件でした。日本は言うに及ばず、世界中のあちこちに異常気象による大規模火災、風水害、地震も起きました。急激な円高と異常な物価上昇も起き、私たちの生活を脅かしています。

そんな中でスポーツの世界では日本のアスリートの活躍に勇気づけられました。特に野球のメツカであるアメリカでの大谷選手のかつつかの新記録の活躍は素晴らしかった。サッカーワールドカップカタール2022での日本チームの健闘は元氣と勇氣と感動を、ヤングのみならず全世代に届けてくれました。夏に続く冬季北京オリンピックも素晴らしかった。

日本中国国交正常化五十周年、埼玉県・山西省友好県省四十周年の記念する年でした。政府レベル、民間レベルでいろいろなイベントが開催され、未来志向のいい関係の構築に努めようとのコンセンサスだったと思います。

私たちが草の根の友好活動を続け、明るい未来に向かっていきたいと思います。

(1面から続く)

途中、日中国交正常化50周年記念オンライン講演会を視聴。中国側は汪婉先生(北京大学国際戦略研究



院理事、前駐日大使程永華氏夫人)は、「日中国交正常化『原点』その回顧と思考」と題して講演。今後の日中関係構築のため、両国民間の相互理解を促進する努力が大切であり、将来に向けて青少年交流を計画的に行なう必要性を強調されました。日本側の久保孝雄氏(アジアサイエンスパーク協会名誉会長、元神奈川県副知事)は、現在の中国台頭、米中対立、日中関係悪化という状況を、官停(退)民際(外交)の時代に学び着実に前進させていくことの重要性を訴えられました。

両氏はいずれも日中国交正常化時の共同宣言の「原点」に立ち返ることがいま最も重要なことであると述べられました。

第36回総会は書面議決方式で実施

2021年の第35回総会に続き、2022年の第36回総会も残念ながら書面議決方式を余儀なくされました。2021年度事業報告と決算報告、2022

年度事業計画と予算は圧倒的多数の賛成により承認されましたが、コロナの感染状況を考慮して可能な事業に取り組むこととしました。

豆村小学校児童の図画作品100点が届く



昨年の会報第39号で、上陽希望小学校が閉校となったこと、新たな交流校を山西省人民対外友好協会の協力を得て検討中であること、そして『この記事をお読みいただく頃は、新たな交流が始まっていることでしょう。』とその検討が順調に進んでいることをお知らせしました。

新たに決まった交流校は、上陽村を管轄する豆村鎮にあり、上陽小学校の子どもたちも通学する豆村小学です。2月2日(水)に届い

(以下、3面に続く)



(2面から続く)

た100点の作品はきれいな台紙に絵や漢詩が書かれたバラエティに富んだもので、豆村の子どもたちの様子がよく分かる見事な出来栄のものばかりでした。

これに対しふじみ野小学校では5年生が、イラスト、メッセージ等の作品を制作、3月に返送しました。コロナの影響で豆村小学に届いたのは5月9日でしたが、作品を持つ子

どもたちの写真が送られてきて、初回の交流としてはまずまずでした。

こうして始まった新たな交流は、富士見・上陽希望小学校友の会の解散に伴い、今後は当協会が引き継ぐことになりました。



さようなら“しゃんやん”

アフタヌーンコンサート&思い出写真展を開催

＝ 2022年5月1日(日) 針ヶ谷コミュニティセンター展示ギャラリー ＝

上陽希望小学校の閉鎖に伴って解散することとなった「友の会」と共催して、コンサート&写真展を

開催しました。当日は朝からどんよりとした曇り空。「夕方からは雨」という予報に加え、ゴールデン

ウィーク中の日曜日という条件下にもかかわらず、会場には80名を超える方々にお越しいただきました。本当にありがとうございました。

コンサートに先立ち、岩本喜直会長から上陽希望小学校と友の会の歴史、友の会解散に至った経緯などが報告されました。また、ふじみ野小学校と山西省豆村小学との新たな交流が始まったことが紹介されま

(以下4面に続く)





思い出写真展では1998年から2022年までを五つの年代に分けて、それぞれの期間の主な事業を写真で紹介。「懐かしい方がたくさん写っていて当時は思い出した」という感想をいただきました。

思い出写真展では1998年から2022年までを五つの年代に分けて、それぞれの期間の主な事業を写真で紹介。「懐かしい方がたくさん写っていて当時は思い出した」という感想をいただきました。

(3面から続く)

した。最後に、今年は日中国交正常化50年、富士見市の市制施行50年、埼玉県と山西省が友好県省を締結して40年であると同時に、沖縄が本土復帰をして50年という記念の年であり、新たなスタートの年でもあること、そうしたことを念頭に、新たな学校との交流に引き続きご支援をと呼びかけました。

コンサートの第一部は古澤奈々子さんのフルート、田中友子さんのチェロ、笠原紀子さんのピアノです。皆さん馴染みの曲をたくさん演奏していただきました。最後の「小さな世界」では中国らしさをと、にわか作りの銅鑼（実はケーキを焼く釜）で古澤さんのお孫さんの遼一さんが参加。ぴったりのタイミングで打ち鳴らされると、会場はどよめきとともに和やかな空気に包まれました。

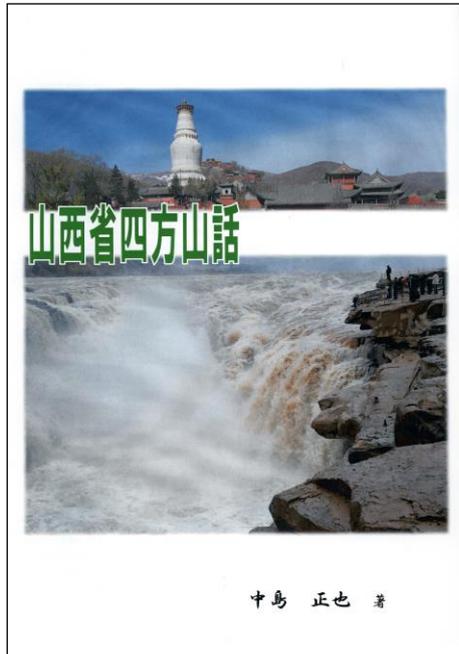
休憩をはさんで第二部は宇野ゆうこさん。「オー・シャンゼリゼ」で元気よく始まり、MCでは会場の笑いを誘うなど、楽しいコンサートの予感。そのままの雰囲気です。「サザエさん一家」、そして一転、母から子への「愛の贈り物」、越路吹雪さんのために書かれた編曲で「サン・トワ・マミー」、「ろくでなし」のシャンソンを2曲。続いてブラームスの交響曲が原曲の

映画音楽「さよならをもう一度」、中島みゆきさんの「誕生」と情感たっぷりに歌い上げました。ラストはお馴染み「サザエさん」。まさに宇野さんの世界に浸るコンサートで、皆さん大満足の様子でした。



★ 書籍紹介 ★

『山西省四方山話』

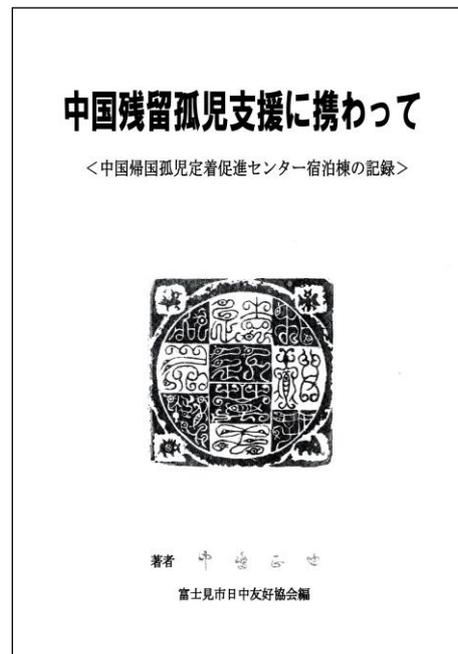


富士見市日中友好協会事務局長であった故中島正也氏（令和4年4月没）の筆に依る『山西省四方山話』『中国残留孤児支援に携わって』という2冊の本が富士見市中央図書館に置いてあります。ご興味のある方は是非ご覧ください。

『山西省四方山話』は長年にわたって中国の山西省と関わってきた氏が、山西省及びその周辺で見たり聞いたりしたことが写真とともに語られ、発展前の中国の地方の様子が克明に描写されています。

『中国残留孤児支援に携わって』は、勤めていた国鉄（現JR東日本）を辞めてまで心血を注いで

『中国残留孤児支援に携わって』



この不条理が二度とあってはならない。先の日中戦争は「間違っていた」これを言い続けなければ、残留孤児は浮かばれない。

携わった仕事の内容ですが、中国に残された日本人残留孤児が日本に帰ってきて日本になじむため収容されていた“定着促進センター”で生活する悲喜こもごもの様子が書かれています。日本人残留孤児に対する日本政府の政策、日本国民の彼らに対する姿勢・態度がよく分かります。

両書ともご一読に値する本で、いずれも当協会のホームページにも連載されております。手元に置いて友人・知人に紹介したいと思う方は、当協会にお申し出ください。部数に限りはありますが、実費にてお譲りいたします。

富士見市国際友好協会総会

＝ 2022年5月14日(土) 針ヶ谷コミュニティセンター展示ギャラリー ＝

会員が参加しての総会が3年ぶりに開催されました。セルビア共和国シャバツ市との友好関係の継続発展の事業、海外の都市や市民と交流をめざす視察・研

修への補助事業、国際交流・理解を深めるための諸事業の実施などの事業計画と予算が議決されました。

2022ピースフェスティバル

地球はひとつ～今こそつなぐ非核・平和のバトン～

＝ 2022年7月30日(土)～8月31日(水) 市内各施設 ＝

富士見市ピースフェスティバル実行委員会、富士見市、富士見市教育委員会の共催によるフェスティバルは前年の2021ピースフェスティバル



様に、約1カ月にわたり市内各施設で事業が展開されました。7月30日(土)と31日(日)は鶴瀬公民館及び鶴瀬コミュニティセンターホールでの舞台発表と実行委員会の企画展示、8月3日(水)～14日(日)は中央図書館展示ホールで市民による文芸作品等の展示、5日(金)～31日(水)は市内各所の公民館やコミュニティセンターで小学6年生が書いたピースカードの展示、15日(月)は市役所前で「平和の鐘を鳴らそう!」の取り組みと、盛りだくさんの内容でした。

平和なくしては市民生活も協会の活動も立ち行きません。平和事業は協会としても極めて重要な取り組みの一つであり、図書館での市民作品展示部門に紫関理事の写真「満面の笑みー上陽村の小学生」を出品しました。

富士見市国際交流フォーラム～2022「世界へのとびら」～

＝ 2022年10月1日(土) 市民文化会館キラ☆ふじみ ＝

3年ぶり25回目となる国際交流フォーラム(富士見市国際友好協会主催)は、メイン会場となるマルチホールでは事前登録制などのコロナシフトのもと、やさしい日本語講座、外国人の意見発表、弦楽

四重奏団の演奏などが行われました。

展示室はセルビアの写真展や国際交流団体による展示です。協会は「上陽希望小学校との交流の22年」を展示しました。



第43回中国語スピーチコンテスト

＝ 2022年10月16日(日) NPO法人埼玉県日本中国友好協会主催 ＝

埼玉県日中友好協会主催の第43回「中国語スピーチコンテスト」が10月16日、さいたま市で開催されました。個人での演説、朗読に加えて、団体での寸劇など合わせて53名・組が登壇しました。今回のスピーチコンテストは5つの大学から7名、3つの高校から27名、2つの語学専門学校から3名と、若い学生たちが多く参加したことが特徴的でした。学生たちの発表は活力にあふれ、発音も発表内容もレベルが高く、とても感銘を受けました。

当協会の小島さんも入念な準備をして演説に臨みました。惜しくも受賞とはなりませんでした。参加の過程を通して大きな収穫が得られたのではないかと思います。



芋ほり交流会 収穫に大満足!!

＝ 2022年10月23日(日) 三芳町 はやし園 ＝



まさに芋ほり日和となった10月23日(日)、恒例の芋ほり交流会が3年ぶりに開催されました。富士見市に隣接する三芳町は川越芋の名産地。「はやし園」には朝から続々と観光客が集まってきました。富士見市日中の一団も手続きを済ませて、いざ芋畑へ。短い時間でしたが、ビニール袋一杯の“成果”に、皆さん満足の様子でした。



★ 「芋ほり」に参加して ★ 桐谷妙子さん ★

10月23日、日曜日。気持ちの良い秋晴れの日に、はじめて「芋ほり」のイベントに参加させていただきました。芋ほりの場所もよく知らなかったのですが、30人以上の大勢の人たちと一緒に楽しく芋ほりができました。家に帰り早速白いお芋を蒸しましたら、とても甘く柔らかな美味しいお芋でした。開催して下さった富士見市日中友好協会の皆様に感謝します。ありがとうございました。

県日中講演会「孫文と梅屋庄吉」

＝ 2022年11月20日(日) 埼玉会館 ＝

孫文は中国で長い間支配を続けてきた王朝を倒し、アジアで初めて共和制を敷いた人物です。時は1911年。最後の王朝となったのは第12代皇帝、愛新覚羅溥儀の清朝。その年の干支からこの事変は「辛亥革命」と呼ばれます。その孫文を、物心両面から支援した日本人がいました。上海で小さな写真店を開いていた梅屋庄吉は、孫文と出会い、その志に強く共感しました。その後事業に成功した梅屋は、革命の経済的後ろ盾と

しての役割を買って出ます。

こうした歴史の大きな転換点を、講師である小坂文乃氏（梅屋庄吉の曾孫、日比谷松本楼社長）は約100人の聴衆に熱く語りかけました。梅屋はもちろん、それ以外の多くの実業家が孫文に協力した歴史を知ることができた講演会でした。

この講演会は埼玉県と山西省の友好県省締結40周年を記念して開かれたものです。当協会からは岩本会長以下4名が参加しました。

お知らせ

昨年は当協会にとりましてかけがえのないお二方を亡くすという、この上ない試練の一年となってしまいました。

令和4年1月30日に古澤建一副会長（享年80歳）が永眠されました。富士見・上陽希望小学校友の会発足時より世話人を、後には会計も務めていただき、会の基盤強化にご尽力くださいました。

令和4年4月7日には中島正也事務局長（享年87歳）が永眠されました。富士見市日中友好協会発足前から日中友好運動に携わり、発足後は永く事務局長として会を導いていただきました。同時に埼玉県日中友好協会の副理事長を務めるとともに、篆刻教室「楽篆会」を主宰して友好事業とともに中国文化の普及促進にも多大な貢献をされました。

ここに謹んでご報告申し上げます。

お二方がご存命のときのような充実した理事会を確立することはとても叶いませんが、理事会一同これまで以上に精進してまいりますので、会員並びに関係者の皆様におかれましては温かくお見守り下さいますとともに、倍旧のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

日中文化交流講座

中国語を学びながら、日本と中国の文化を考えます。

中国語初挑戦の方、大歓迎!!

日時 月3回(火曜日)
☆2023年度は4月4日(火)開講
入門クラス 午後5:00～6:45
初級クラス 午後7:00～8:45

会場 富士見市立鶴瀬西交流センター

会費 月4,000円

入会金 2,500円(日中会員は不要)

コーディネーター 侯紅葉さん

お問合せ 田口(049-254-5762)